

故障時について

●床暖房用ブレーカなどの電源は確実に入ってますか？

●コントローラーの電源は確実に入ってますか？

●コントローラーのヒータースイッチは確実に入ってますか？

●温度設定が低すぎませんか？
(35℃～40℃になっていませんか？)
(高温(40℃)タイプは45～50℃になっていませんか？)

●温度センサー部の床上にマットやフトンなどを置いていませんか？

まず、以上を確認してください。

●床暖房機器は絶対に分解したり加工、改造、修理は行わないでください。異常動作、感電、火災の危険性があります。できる限り速やかに保証書記載の販売店までご連絡ください。

保証について

- ①本システムは保証書付きです。
- ②保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししますから、記載内容をご確認頂き、大切に保存してください。
- ③保証期間は、完成引渡しの日から2年間です。なお保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- ④保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

住友化学グループ

SPT 住化プラスチック株式会社

住建機材部 床暖房グループ

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号

TEL 03(6837)9203 FAX 03(6837)9204

販売店

永久保存版 取扱説明書

蓄熱式電気床暖房

スミターマルシステム

非蓄熱式電気床暖房

スミウォーマー



このたびは、
住化プラスチック株式会社
の床暖房「スミターマルシステム」
「スミウォーマー」をご採用頂きまして、
ありがとうございます。「スミターマルシ
ステム」「スミウォーマー」を正しく、かつ安
全にお使い頂くために、ご使用になる前に必
ず本取扱説明書をお読みください。

★なお本取扱説明書は、設備（コントローラーなど）
の間に常備して頂き、万一使用者や管理者が
代わるような場合は、本取扱説明書の引き
継ぎを必ず励行くださいますようお願い
いたします。

住友化学グループ

SPT 住化プラスチック株式会社

安全に関する ご注意

◆ご使用前に、この「安全に関するご注意」とコントローラー取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。またこれらの資料は大切に保管してください。

◆ここに示した「安全に関するご注意」はいずれも安全に関する重要な内容なので、必ず守ってください。

◆ここに示したご注意の内容は、床暖房を正しくお使い頂き、ご使用頂く皆様の危害や損害を未然に防止するためのもです。

また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3区分で示しています。

危険	人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容
警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容

絵表示の例

-  左図のような▲記号は危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです
-  左図のような○記号は禁止の行為であることを告げるものです
-  左図のような●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです

危険

-  ●通電時は乳幼児や身体の不自由な方には、付添いなしでは使用しないでください。
**低温やけどや
脱水症状を起こす恐れがあります。**

警告

-  ●床暖房機器は絶対に分解したり加工、改造、修理は行わないでください。
異常動作、感電、火災の危険性があります。
-  ●夜間通電時は低温やけどの恐れがあります。比較的低い温度(40℃前後)でも長時間皮膚の同じ場所に触れていると低温やけどの恐れがあります。
次のような方は特にご注意ください！
お子様、お年寄り、皮膚の弱い方、眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方や深酒、疲労の激しい方。
●所定の場所以外の床への釘打ち、アンカーボルトなどの打ち込みは絶対に行わないでください。
感電、火災の原因となります。

注意

-  ●スプレー缶などを床暖房の上に置かないでください。
爆発や火災の原因となります。
-  ●座布団、カーペットなど放熱を妨げるものを長時間同じ場所に置かないでください。
**熱により、置いたものや
床材が変色・変形の恐れがあります。**
-  ●温度センサーがある床の上には座布団、カーペットなど放熱を妨げるものは置かないでください。
**温度調節が不調となり、
十分蓄熱ができないことがあります。**
-  ●コントローラー、制御盤などが水に浸かったときは、漏電、火災の危険性がありますので販売店の点検を受けてください。

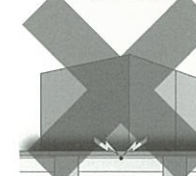
かならずお守りください

床暖房は、どんなタイプの床暖房でも熱源が床下にありますので、床の上に放熱を妨げるようなものを置いたり、誤って床暖房設備を傷つけますと事故の原因となり、また補修も大変ですので、「安全に関するご注意」とともに以下の事項を必ずお守りくださるようお願いいたします。

①通電中、床に直接寝ないでください

 通電中に床暖房敷設場所で床にじかに寝ないでください。放熱を妨げ熱がこもり、ヒーターの過熱や低温やけどの恐れがあります。また、温度センサーの上に寝る場合も③の場合と同じように温度調整が不調となり、床暖房が順調に行われません。

③温度センサーの上にモノを置かないでください

 温度センサーがある床の上にはもの(座布団、段ボールなど)を置かないでください。温度調整が不調となり、床暖房が順調に行われません。

②ベタ置きはやめてください

 床からの放熱を妨げるもの、特にタンス、本棚などのベタ置きの家具類や、布団、座布団のような断熱性の高いものを床暖房敷設場所に置かないでください。また、絨毯、カーペットなども敷かないでください。ヒーターの過熱や蓄熱不良の原因になります。また、こもった熱で置いたものや、床材が変色することがあります。
ベタ置きの家具類を置く場合には、台木などを使って床面から5cm以上の空間をとり、熱がこもらないようにしてください。

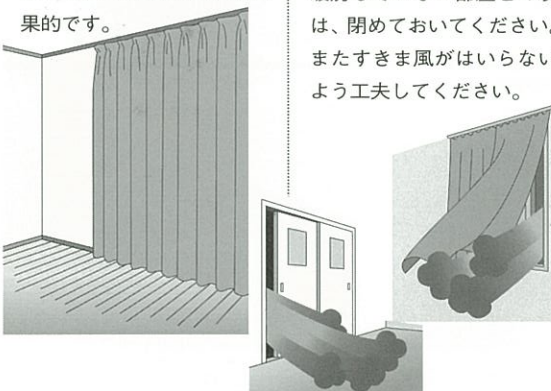
④釘などを打たないでください

 床暖房敷設場所で釘を打ったり、鋭利なものを突き刺すような作業はしないでください。誤って突き刺した場合、通電中であれば感電したり、漏電やヒーター断線のもとになります。

効果よくご利用頂くために

床暖房設備をより効果よくご利用頂くために、また、省エネルギー・節電のためにも、以下の事項に注意してご利用ください。タイマー運転または予測制御運転にて、ご使用になる場合は、コントローラー取扱説明書をお読みください。

■床暖房を効率よく行うために、冬期は日没とともに雨戸またはカーテンをお閉めください。カーテンは床までとどく長めのものが効果的です。



■すきま風は厳禁です。せっかく暖まった床面の熱を冷気が覆うことになり床暖房の効果が減殺されます。暖房していない部屋との境は、閉めておいてください。またすきま風はいらないよう工夫してください。

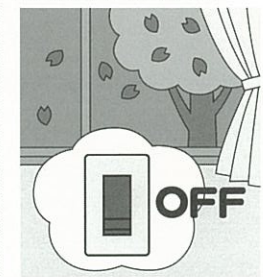
■床暖房の上に足付きであっても、大きなソファやベッドなどを置いたりすると、床暖房(輻射)の効果が減殺されます。



■蓄熱式床暖房の設定温度は標準(35℃)にしておいてください。
※高温(40℃)タイプの標準設定温度は45℃です。

35℃

■暖かい季節になりましたら、分電盤の床暖房用ブレーカを切ってください。深夜電力契約の場合不適用月は基本料金が半額となります。



※床暖房とエアコンを併用の場合、床暖房を優先的に運転してください。